

第9回臨時委員会会議録

- 教 育 長) 開会宣言
- 教 育 長) 会議成立の宣言
- 教 育 長) 会議録署名委員の指名（浅井委員）
- 教 育 長) 傍聴希望者がおられますので、入室していただいでよろしいでしょうか。

〈異議なしの声〉

では、入室いただきます。

それでは、審議に入ります。

日程第1、第16号議案「令和3年度使用芦屋市義務教育諸学校教科用図書の採択について」を議題とします。

本議案については、先の5月8日に開催した教育委員会第3回定例会において、採択に関する基本方針について、議決しているところです。

その基本方針に基づき、中学校用教科用図書については、採択替えを行い、一方、小学校用教科用図書は、昨年度に採択したものと同一の教科書を採択することを決定しておりますので、本日の会議においては、中学校用教科用図書と一般図書について協議を進めていきたいと思ひます。

まず、再度の確認となりますが、小学校用教科用図書について、現在使用している教科書を継続して使用することで問題はないと思ひますが、皆さんよろしいでしょうか。

〈異議なしの声〉

ありがとうございます。

それでは、小学校用教科用図書については、来年度も本年と同じ教科書を使用することとします。

次に、次年度からの中学校用教科用図書について協議を進めていきたいと思えます。

まず、議題の進め方ですが、教育委員の皆さんにおかれましては、調査研究報告書という資料を事前にお渡ししております。十分熟読し、また教科書も見ていただいておりますので、今日の会議におきましては、コロナ禍の対策も考えまして、担当者は簡潔明瞭にポイントをお話してください。そして各委員の皆さんは、そのことを受け、各自において調査研究された分に対する質問点、疑問点、さらに確認したいことがあれば簡潔に御質問ください。なければそれで結構です。

最後に私から各委員の皆さんに調査していただいた教科書から推挙するものをお聞きしますので、1社挙げてください。それで決定しづらい場合は2社でも構いません。それを受けまして、教育委員会として合議の中で決定していきたいと思えますので、よろしいでしょうか。

〈異議なしの声〉

では、そのような進め方をします。教科用図書出版会社の皆さまにおかれましては、日頃から教科書を通じて芦屋市教育の推進に御協力賜っておりますことを、改めてお礼申し上げます。これからも芦屋市教育に対して、また一層の御協力をよろしくお願ひしたいと申し上げます。まず、冒頭に当たり、このことを申し上げておきます。

協議にあたって、事務局から具体的な説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただ今、説明のあった手順で進めますが、みなさんよろしいでしょうか。

<異議なしの声>

まず最初に、「国語」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

ないようですので、「国語」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

では、上月委員からお願いします。

上 月 委 員) 国語ですが、今回のコロナ禍の中で、これから芦屋市も、児童生徒1人1タブレット端末の時代に入っていきます。そうした中で、情報やICTを活用して学力をつける、教科書にもその配慮があるかということが1つの観点になろうかと思っております。

そういう意味では、今、課長から説明があった情報のページや手引きが「光村図書出版」は非常に充実しています。どこの社も、情報を集めたり、読み取ったり、引用したりする欄があり、見通しを持って学習するような形を取っていますが、中でも、2ページ見開きで手引きが充実しており、小学校と学習の見通しの枠組みが共通しているという使いやすさの点において、私は「光村図書出版」を推薦いたします。

教 育 長) 次、木村委員お願いします。

木村委員) 現行が、現在使用しているのが「光村図書出版」で、いろんな面で使い慣れていることや、QRコードが印刷されていて、便利なところもありますので、私は「光村図書出版」でいいのではないかなと思います。

教育長) では、浅井委員、お願いします。

浅井委員) 私は「光村図書出版」を推挙します。理由としましては、やはりQRコードの充実、かるたや絵画などの資料などの充実があります。何より音読を楽しもうという単元がありまして、1年生は「いろは歌」、2年生は「平家物語」、3年生「古今和歌集」という古典に特化している。島崎藤村や三好達治、中原中也という詩に特化して音読を楽しもうという単元がございます。それは言語活動の、聞く、話す部分につながる重要な部分かと思しますので、私は必要なことだと思い、「光村図書出版」を推挙します。

教育長) では、越野委員、お願いします。

越野委員) 芦屋市では読書を推進していますので、まず、どんな形で読書への興味が湧くような工夫がなされているのかという部分を見ていたのですが、本の紹介という部分では、どの教科書もたくさんの本が紹介されていたのですが、その中でも「光村図書出版」が読み物教材には必ず関連した本が紹介されていまし、それとは別に本の紹介ページがあって、そこは本の要約ではなく、実際の本の内容の一部が掲載されていて、子どもたちが読んでいるときに、続きが気になって読んでみたくなるような工夫がされていたり、また翻訳作品を読み比べるものもあって、子どもたちは、また新たな視点で読書に興味を湧くので

はないかと思い、私も「光村図書出版」を推薦したいと思えます。

教 育 長) 4人の教育委員全てが「光村図書出版」を推挙されております。私も同様の考えを持っておりますので、「国語」の教科書は「光村図書出版」を採択します。

それでは、「書写」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

越 野 委 員) 小学校では国語と書写は同じ出版社を採択したと思うのですが、これは特に連携部分はないでしょうか。

学校教育課長) 選定委員会の中での話や現場の先生の声としましては、そのこだわりは特になくて、やはり中身の内容を重視していくべきであるというところでした。

教 育 長) ほか、質問ございませんか。

では、私から1点。国語は「光村図書出版」を決定したときにQRコードが決め手になったのですが、今の説明の中では、「東京書籍」、「三省堂」と「教育出版」、「光村図書出版」、この4社についてはQRコードがあるとかオンライン資料へのリンクは、何らかの形であるものとみなしていいですか。

学校教育課長) QRコードにつきましては全部チェックをしたところで、どこも検討されたQRコードでございますので、4社とも特に大きな差はないと聞いております。

教 育 長) 分かりました。他に質疑はございませんか。

では、「書写」の教科書採択について各委員よりご意見、

ご感想をお聞かせください。

では、また上月委員、お願いします。

上月委員) 書写の教科書を見ていますと、各教科とつなげて指導することができるような言語活動といますか、成果物と結びつけて日常的なものを取り上げて実際に書いているという工夫が各社ともに見られました。書写が他教科に生きているなど感じました。

その中で、1つの観点としまして、初めて教科書を手を取ったときの導入の仕方に視点をあててみました。私の子どもの頃は、いきなり書くところから入っていたのですが、書きたいという生徒の思いを引き出すように考えてある、大事なことは目的に応じて書くということが伝わってきます。そして用具の使い方に入っていくという「教育出版」の導入の仕方がよいのではないかなと思いました。

教育長) では、木村委員、お願いします。

木村委員) いろいろ教科書、4社ある中で、やはりどういうふうに学んでいくのかという順番がはっきりしている。それが子どもに、どういうルールでどういうことをやっていくのか、はっきり明確にさせるのもあって、「教育出版」がいいのではないかと思います。

教育長) では、浅井委員、お願いします。

浅井委員) 私は1社に絞りかねまして、「教育出版」と「光村図書出版」を挙げさせていただきたいと思います。

「教育出版」は、本の帯やポップの視点が大変おもしろいなと思いました。「帯を書いてみよう」というのが、身近な子ども

もたちがやってみようかなと思えるのではないかと思いました。

「光村図書出版」は、半紙大のお手本が多いです。1年生の「大木」、2年生の「紅花」、どれも書き初め用の原寸大の手本はついているのですが、半紙の大きさのものがあるのは意外と少ないです。やはり拡大コピーをするなどの手間も必要がないですし、いいのではないかなと思います。

そして98ページにあるのですが、「光村図書出版」の「ユニバーサルデザイン書体って何だろう」ということで、ここに踏み込んでいるのが一歩進んでいるなと感じまして、「教育出版」と「光村図書出版」、この2社を推挙したいと思います。

教 育 長) では、越野委員、お願いします。

越 野 委 員) 「教育出版」の教科書がワイドな紙面になっていて、毛筆が実寸大でのお手本があったり、練習するとき文字の大きさや余白などが、子どもたちにはイメージしやすいのではないかと思ったのと、あと行書と楷書の違いを見開きで対比させて詳しく説明してあるところも、とても分かりやすかったですし、また日常生活への活用例もたくさん紹介されていたので、「教育出版」がいいかなと思いました。

教 育 長) ほとんどの視点は網羅されているので、私としましては、今、各委員全て共通している「教育出版」を選定するのが妥当だと解しておりますので、「書写」に関しましては「教育出版」を採択するということに決定いたします。

それでは、「社会（地理的分野）」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

越 野 委 員) ほかの教科の場合は1年、2年、3年と教科書が分かれていますのですが、この社会に関しては学年で分かれていないのですが、授業の進み方としてはどういう感じですか。1年生で地理、2年生で歴史と1つずつ終わらせていくのですか。

学校教育課長) 教員数等学校の状況により違いがありますが、1つずつ終わらせていくケースもあります。また、地理や歴史については学年がまたがることもあります。

教 育 長) ほか、質問ありますか。

ないようですので、「社会（地理的分野）」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

では、上月委員、お願いします。

上 月 委 員) 各社とも理解を進めるために、できるだけ子どもの思いや考えに沿うように教科書の中に問いを入れたり、情報を入れたりしていることがわかりました。ですから、いわゆる聞いて覚える地理ではなくて、問いに対して答えながら考えていくことができるなど、配慮されていました。

その中で、「日本文教出版」は、章の終わりに1ページの振り返りヒントがあったり、オリジナルの地域部門を書き込んだりする箇所があったり、工場建設シミュレーションをしてみようというおもしろい課題の立て方があったりしてよいと思います。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 今回の地理教育はフィールドワークというか、地域調査を町

に出てやるようなことが兵庫県ではあると思いますが、その点で、「日本文教出版」の「地域調査の手法」、これは芦屋ではなくて京都市伏見区ですが、具体的にどういうふうに進めていくのか非常にイメージしやすくなるかなと思いました。

あと、少しだけですが、芦屋市の写真も、港のポートアイランドの写真も掲載されています。小さなことですが、そういうこともあって「日本文教出版」がいいと思います。

教 育 長) では、浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員) 令和2年度の教科書展示会のアンケートを集約してもらっているのですが、この中にも「教科書が重いことが話題になるのがよく分かる」や、「写真が多いから分かりやすいわけではない」という御意見もありました。

地理に関しましては、ほとんど同じ版で、私たちにとっては、かつての社会科の教科書よりも本当に魅力的になっているなど思って、感心して読ませていただいております。その中で、私は「日本文教出版」を推挙したいと思います。

大阪に本社がある出版社で、比較的、近畿地方に重点が置かれているように感じます。地域調査だとか地域のあり方などが京都市を例にとっていて、なじみやすい点があると思います。

木村委員や課長もおっしゃいましたが、193ページ、阪神間市街地のポップ地図がとても分かりやすくて、芦屋市が出ていることで親しみが湧くことはあると思います。

自然災害については、地震・火山・気象災害と分けて地域的な特色について述べられている、この点がよいと思いました。

教 育 長) では、越野委員、お願いします。

越 野 委 員) 今も学校で「日本文教出版」が使われているのですが、この教科書が兵庫県に関係する内容が比較的多く掲載されているので、子どもたちも親しみを持って学べるのではないかと思いますのと、あと日本の子どもたちは資料やグラフを読み取って問題を解くというところに課題があると言われていたのですが、「日本文教出版」では、資料活用やスキルアップの統計資料を活用するなど、この資料から何が分かるかという問いかけが頻繁に設けてあって、資料やグラフを素通りさせない工夫があるところで「日本文教出版」を推薦したいと思います。

教 育 長) どの教科書もそうですが、教科書を教えるのではなく、教科書で教える。中学校の発達段階においてはまずは教科書で、さらに興味が湧く視点を各委員とも述べられたのではないかなと思います。そして、4人とも「日本文教出版」を挙げられておりますので、それに対して私としましても同様の扱いとして「社会（地理的分野）」においては「日本文教出版」を採択することに決定したいと思います。

それでは、「社会（歴史的分野）」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

では、ないようですので、「社会（歴史的分野）」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

上月委員、お願いします。

上 月 委 員) どの教科書も大変資料が豊富で、教科書の解説に照らして

番号を打ったり、資料と対照して理解するようになっていたりする工夫がありました。

今まで芦屋市は「日本文教出版」を採用しているわけですが、「日本文教出版」のよいところの一つに、「近世の日本と世界」の見開きの、江戸図屏風から取ったこの資料が非常に見やすかったということがあげられます。「教育出版」の教科書は歴史を知ろうということ、先ほどの課長の説明にもありましたが、歴史学習の終わりに、歴史を振り返って未来を構想しようとかこれからの社会を築いていくために、自分たちには何ができるかを考えて、主体的に社会に参画していくという意識をもつことができるのではないかと思います。私としては非常に悩ましいところですが、「教育出版」と「日本文教出版」の2社を挙げさせていただきたいと思います。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 私は「教育出版」がいいかなと思ったのですが、各ページのタイトルのつけ方が「グレートジャーニー」とか、最近テレビなどでノンフィクションでやったり、いろいろ使ったりするようなことについて工夫が、最近は分かってきたことですが、人類の始まりからどう移動していたと、アフリカから出てという流れ、グレートジャーニーという番組があったり、そのタイトルをつけているとか。「あつく三宝を敬え」とか、スペインのことを指して「太陽の沈まない国」とか、我々、大人になって割とよく聞く言葉をタイトルに挙げているということで、興味を非常に引きやすい、こういう切り口から入るのもおもしろいかなと思ったのが1つと、あと非常に読みやすいという観

点もありまして、「教育出版」がいいということになりました。

教 育 長) 浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員) 私は歴史、2社挙げさせていただきます。「教育出版」と「日本文教出版」です。

「教育出版」は、第1章の歴史のとらえ方、調べ方、この部分がとてもインパクトがあります。歴史すごろく、人物カードづくりなど、中学生が抵抗感なく歴史を楽しく学習できる工夫がされていると思います。

先ほどから話題になっていますが、節の中の小見出し、タイトルが学習内容を象徴もしているし、また興味を引くように作られています。「エジプトはナイルの賜物」、「このごろ都にはやるもの」、「王は君臨すれども統治せず」、そのような工夫が随所に見られますので、よいと考えました。

また、「日本文教出版」は、2度の世界大戦と日本の中で、日本だけでなく、アジア諸国からの視点も盛り込んで、多角的に歴史を考察できるような工夫がされていると思います。芦屋の子どもたちの広い歴史感と対話的な感性を育むよすがになるのではと思ひまして、2社挙げさせていただきます。

教 育 長) では、越野委員、お願いします。

越 野 委 員) どの教科書も各章の初めのページには、その時代を表す絵であったり、写真であったり、年表であったりという資料が大きく掲載されていて、そこで子どもたちはこの章で一体どういうことを学ぶのか興味を持つことができるように工夫されていると思ひましたし、その中でも皆さんおっしゃっていますように、「教育出版」の本編ページのタイトルです。私もやはりこ

こがおもしろいなと思ひまして。こういうところで、このタイトルってどういうところから来てるのかなと子どもたちに疑問を持たせるところから、内容の興味へつなげていくところがおもしろいかなと思ひました。

また、「教育出版」の各章に設けられた「歴史を探ろう」であったり、「身近な地域の歴史を調べよう」などの特設ページでは、違った視点から歴史を深く学べるようになっている点もよかったです。

教 育 長) 「日本文教出版」と「教育出版」、2社が推挙されました。その中で、2委員については「教育出版」のみの推挙が挙がっており、教科書が変わることによって子どもたちが混乱することはないと思ひますので、新しい試みの中での学習を深めていけたらと期待しまして、4委員共通で挙がっております「教育出版」、今までは「日本文教出版」でございましたが、「社会（歴史的分野）」におきましては「教育出版」を採択することに決定いたします。

それでは、「社会（公民的分野）」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

ないようですので、「社会（公民的分野）」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

では、上月委員、お願いします。

上 月 委 員) 公民はSDGsとの関連が非常に深く、裏表紙に写真な

どを用いて大きくページを割いてある教科書が2社ありました。とても分かりやすくてよいのではないかと思います。

「日本文教出版」のアクティビティーとしていろいろ課題を挙げていっている中で、15歳は子どもなのか、それとも大人なのかということで、子どもたちの会話で議論が掲載されています。実際に生徒たちがそのように自分たちでも話し合ってみることがとても大事で、そういう授業の工夫が考えられるのではないかと思います。グループで交流して考える、携帯電話のルール作りなども、授業も先ほどと同じで自分のこととしてつなげて学習できると考えました。

「教育出版」にも2ページ目に、1ページを割いて、章に入る前に問題意識を持たせて入るように考えている点や、「公民の技」を小さく入れて考えさせるような内容になっているという良い点があります。各社とも、やはり生徒が主体的に学ぶような工夫はされているなと思いました。

現在、「日本文教出版」の教科書を使用しているということで、私としてはそのまま継続でよいのではないかと考えます。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 「日本文教出版」を推したいと思います。

理由としては現在使っているというのもありますが、とにかく平等権の関係で、マイノリティーに対する補足的な記述が充実していることで、最近マイノリティーの問題は大きな問題です。そこでしっかり考えることができる。あと、例えば在日韓国人、朝鮮人差別の問題として、生野コリアンタウンの写真、町を紹介しているということで、やはり関西ならではの

いうところもありますので、具体的にそういう内容を考えることができるということで、「日本文教出版」がいいのではないかと思います。

教 育 長) では、浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員) 私は「日本文教出版」を推挙したいと思います。178ページ、持続可能性について。持続可能な社会について、1枚のシャツを例に取って考えたり、自分たちの行動と結びつけて考えられる構成になっているところを評価しました。

教 育 長) では、越野委員、お願いします。

越 野 委 員) 子どもたちが公民で学ぶそれぞれのテーマを自分事に置きかえて考えられる工夫があるものがよいかと思って見ていたのですが、「日本文教出版」では、各章の初めには、学校生活や日常生活の中での、ふだんの何げない1場面が漫画形式で書かれていて、それをきっかけに各章の大きなテーマにつなげていく流れになっていましたので、子どもたちが自分事として捉えやすいのではないかと思います。

また、選挙権が18歳に引き下げられた今、投票するに当たって、どのような視点が必要なのかを中学生時代から学んでいくのはとても大切なことだと思うのですが、「日本文教出版」の「チャレンジ公民」の中で、「自分たちのまちの首長を選ぼう」がありまして、そこでは子どもたち自身が町の課題を出しあって、公約をまとめて分析して投票する流れになっていて、自分たちが首長の立場になって町のことを考えてみるのは政治への関心を高めることにもつながると思いますし、また、どのような視点を持って投票すればいいのか、そういうところでも

参考になると思いましたので、「日本文教出版」を推薦したい
と思います。

教 育 長) 4人全員が「日本文教出版」を挙げられていますので、
「社会（公民的分野）」としましては、「日本文教出版」を
採択といたします。

それでは、「地図」について事務局から説明をお願いします
す。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見は
ありませんか。

質問ですが、「帝国書院」の地図の大きさは他の教科書に比
べて大きいのですか。

学校教育課長) 他の教科書と比べると一番大きいです。

教 育 長) 大き過ぎることはないですね。

学校教育課長) 大き過ぎるという話はありませんでした。むしろ地図です
ので、大きく見やすさという点や、調べ活動のときなど、情報
量の多いところでの評価がありました。

教 育 長) ほか、質問ございませんか。

ないようですので、「地図」の教科書採択について各委員
よりご意見、ご感想をお聞かせください。

上月委員、お願いします。

上 月 委 員) 色が平野の緑と、少し高地になっているところの薄い茶色
の区別が、ちょっと見にくいところがあるなど「帝国書院」の
地図で感じました。

ただ、地図全体として見やすいかどうかというと、南アメリ

カ州などは1枚で、ページをまたがずに見ることができ、そういう点でよいと思います。若干大きいので重いですが。

情報としては、「東京書籍」に出ている「帝国書院」に出ないとか、「帝国書院」に出ている「東京書籍」に出ないとか、そういうことはまずないと思います。だから、必ずしも大きいほうが情報が多いとは限らないということ、全部を見たわけではないですが、ちょっと感じましたが、結論は「帝国書院」です。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 「帝国書院」は芦屋市がはっきり分かる。101ページを見ると会下山とか朝日ヶ丘まで地図になっていて、ちょっとうれしかったのです。残念ながら「東京書籍」は、101ページで大阪周辺の拡大地図はあるのですが、西宮市で途切れてしまって、その西側は写っていないということで、非常に寂しいと感じました。

要は大きな地図で、だからこそこういうふうに芦屋市のこともはっきり描いていることもありますので、そういう意味で「帝国書院」を推したいと思います。

教 育 長) 浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員) 「帝国書院」を推したいと思います。理由としましては、先ほどから課長もおっしゃったように、99ページ、100ページの大阪湾周辺の地形が非常に見やすく、詳しく出ております。阪神間がよく分かります。

97ページ、左上、神戸市付近の様子、災害への備えという、ここが芦屋市の中学生の防災教育にもつながると思います。教

科書は必ずしも大判がいいとは思いませんが、この地図の場合
は大判になってすごくよくなった、見やすくなった、メリット
のほうが多いなと感じまして、私は「帝国書院」がいいと思
います。

教 育 長) では、越野委員、お願いします。

越 野 委 員) 私も「帝国書院」がいいなと思ったのですが、まず、A
4版になって、全体に大きくなった分が見やすくなっていて、
南アメリカ州などは一般図と地域の特徴をつかむための鳥瞰図
が見開きで並べられているので、鳥瞰図で州全体のイメージを
つかんで、隣の一般図で詳細を捉えることができ、比較しなが
ら学べるところがいいなと思いましたし、地図帳というどう
しても1ページにたくさんの情報を載せないといけないので、
ごちゃごちゃしがちなのですが、見比べると、やっぱり「帝国
書院」が少しすっきりして見えまして、地図中の県名や地名が
見やすく、県境などが分かりやすいのもポイントで、土地の高
さによって色分けがされているのも、地域ごとのイメージが
つかみやすいので、「帝国書院」がいいかなと思いました。

教 育 長) 4委員とも「帝国書院」の推挙となっております。大きい
ことはいいことだとは全ては言えないのですが、地理について
は見やすさ、そして郷土が表れている。また全体的に発展しや
すいという観点で、「地図」は「帝国書院」を採択といたしま
す。

それでは、「数学」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見は

ありませんか。

1つ質問ですが、数学のときに子どもたちがつまずくところでの指導の観点、ステップごとに行くときに、特にこの出版社は配慮が感じられるなというところはありませんでしたか。

学校教育課長) それは、最初の導入のところですか。正負の数の学習において、まず例示があり、その次に問いがあって、最後に練習問題で定着していく学習の流れが、本当に数ページにわたって、「日本文教出版」は丁寧に構成されています。3ページにわたって丁寧な説明をしているところが、中学校の数学のつまずきを解消しやすいと考えると、評価が高かったのは「日本文教出版」でございます。

教 育 長) ないようですので、「数学」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。上月委員、お願いします。

上 月 委 員) 確かに今説明があったように、「日本文教出版」は身近な分かりやすい出来事から本題に入っていたり、身近な話題や課題から問題を作っていたりすることが工夫されており、スモールステップで学びに導こうとしていることはよさがあると理解できます。

ただ、数学において、芦屋の子どもたちにどういう学力が足りないのかと考えると、全国学力・学習状況調査結果報告に、「式をグラフで表した際に、それぞれの座標が表しているものを読み取ることが課題である」と書かれていました。表やグラフの読み取りをすること、最頻値と平均値の違いを明確にした上で、その説明ができるかどうか、そのあたりに課題があると

分析されています。

そういった観点から考えていきますと、単元に見通しを持って学んでいくステップ1とステップ2、ステップ3と場面の状況を整理して問題を設定する。そして見通しを立てて解決しようとする、そこから問題を広げて深めるというステップが組んであるところに「新興出版社啓林館」のよさがあるのではないかと思います。

さらにノートの取り方を最初のページで、ノートを取るときや学習するときに大事にしたい、基本的な観点の記述も「新興出版社啓林館」の場合は2ページにわたって説明されています。

教師に質問するために、きちんと疑問を書いておくこと、定規、コンパス、分度器を使って書くということ。分数は2行を使って書きなさい、途中の式も書きなさいと結構細かいですが、案外そういうことは小学校でも定着しきれていないことなので、1年生の最初にきちんと学びの基礎を教えていこうというあたりは、とても大事だと考えます。

今まで分冊だったのが1冊になって、裏からは問題が掲載されています。「新興出版社啓林館」の場合、表紙の反対側からは横書きになっていて、「自分から学ぼう編」となっています。この中の問題で、公園のリンゴを食べたのは誰という問題は、今まで習った数学を基にして、考えていく力をつける工夫があります。こういう問題はおもしろくて、解いてみたいと思わせます。

また、今回のコロナのことで、子どもたちが自分で学べるという点から考えると、QRコードが非常に有効であります。私

も先ほど打出教育文化センターに行って生徒たちが使うタブレットを試してみましたが、短時間でも動画があったり、回転したり、組立てになったり、結構今までにないようなコンテンツが入っているなど感じました。

直接教科書に書かれているQRコードを活用し、すぐに対応できるのでよいと思いました。芦屋の子どもたちに、丁寧にきちんと分らせていくことを重視するのであれば、今までどおり「日本文教出版」になりましょうし、さらに思考力、判断力をつけていくことを考えれば「新興出版社啓林館」になるのではないかと思います。2社を推薦したいと思います。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 数学は、どういうふうにして教えるのかというのは、僕らは専門外なのでよく分からなくて。ただ、数学でつまずいて勉強が嫌になってしまう子どもも多いと思うので、そこは現場の先生が、一番これで教えやすいんだという感覚が一番重視されるのかなと。

今、現行で使用されている「日本文教出版」の教科書について、ほぼこれで、これを使いにくいことはなくて、今のままでいいというニュアンスが受け取れましたので、「日本文教出版」でいいのかなと思います。

教 育 長) では、浅井委員。

浅 井 委 員) 「日本文教出版」がよいと思います。1つは課長の説明にもありました、算数から数学に入る1年生の子どもたちのつまずきをなくすという観点です。1年生の教科書には「数学のたんけん」というコラムがたくさん掲載されています。これは、

学んだ内容に即して社会や歴史や文化の話題が紹介されているので、とても読んでいても楽しい、ほっとするようなコーナーになっているのではないかと考えます。

「学び合おう」というコーナーもありますが、これがみんなで話し合って理解を深めていける内容になっている。対話的な学びができる内容になっていると考えます。そして噴水の放物線だとか浮世絵の波の中の黄金比など、町中や美術作品の中の数学的な美しさに触れているのもよいなと思ひまして、「日本文教出版」を推挙します。

教 育 長) では、越野委員お願いします。

越 野 委 員) いろいろと見せてもらう中で、「日本文教出版」の解説がとても丁寧で、段階を踏んでスモールステップで進めていて、その都度、確認の問いもあるということで、数学が苦手な子にも分かりやすいのではないかと思いますのと、また中1の巻頭には「算数の確かめ」がありまして、小学校で学んだことで、特によく使う内容をまとめてそこで説明してあって、新しい単元に進む前には、「次の章を学ぶ前に」という項目が設けられていて、次の単元に必要な基礎知識を、またそこで振り返られるようになっている点も、とても親切な作りになっていましたので、「日本文教出版」がいいのではないかと思います。

教 育 長) 委員の皆さんそれぞれ「日本文教出版」を推挙されました。

上月委員から話がありましたように、数学の流れであるとか教材の中身は、理数分野を得意とする「新興出版社啓林館」は非常に芦屋市としても注目していきたいところであります。子どもたちの能力を数学分野でさらに伸ばす、また刺激を与えて

いく面においても「新興出版社啓林館」の扱いは大切だなという認識は持っております。木村委員から指摘があったように、現在の学校において使われている教科書をベースとして、子どもたちの学力増進と同時に、理解がなかなかしにくい子どもたちへのフォローアップをしている現状から考えたときに、「数学」は4人の皆さんが推挙されました「日本文教出版」を採択したいと思います。

それでは、「理科」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

質問ですが、QRコードは大体皆チェックしてくれたのですね。

学校教育課長) 全てチェックしました。

教 育 長) 全然とんでもないところへ行くとか、そんなことはないですね。

学校教育課長) そのようなことはございません。

教 育 長) ないようですので、「理科」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

上月委員、お願いします。

上 月 委 員) 「新興出版社啓林館」は、学習のまとめに非連続型テキストを活用しており、理解が非常に進むと思います。他の教科書会社もそうですが、力試しに4ページも割いていることで、学力を定着させるための工夫があると思います。

それから生徒の対話を例として挙げ、四角に当てはまる話を

考えさせたり、「思考の深化」として考えを記述したりする問題もあり「新興出版社啓林館」が充実しているのではないかと考えます。

また、QRコードが各ページの中に載っていて、さっとタブレットをかざせる、一覧から見るとよりも一手間省けるわけですから、非常に有効だと思います。QRコードは、300か所以上あるということですので、有効に活用していくと、自主的に自宅学習も行えるのではないかと思います。よって「新興出版社啓林館」を推薦いたします。

教 育 長) 木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 最近、日本人の科学リテラシーはすごく低いなど。新型コロナが発生して、お湯を飲んだらコロナが治ると信じているとか、この間、イソジンでうがいをしたら治るといって買い占めが起こったり、ちょっと冷静になって考えてみたら、そんなことはあり得ないのはすぐに分かることなのに流されてしまう、非常に情けないというか、やっぱり理科って物すごく重要な教科ではないかなど。

国語とか算数とか英語が重視されてしまうが、やはり理科をきちんと教えていくことは、科学的思考力を身につけるという意味で、すごく大事ではないかと最近思っています。

その科学的思考力は何かということ、まず仮説を立てて、それを実験するなり観測するなりして、自然現象と合致するかどうか。そうすると、仮説が一応正しいということにはなるが、その仮説もいつまでも維持されるかどうかは分からない。将来になったら、またその根拠を失うかもしれないというのが一応の

仮説には過ぎないですが、そういう思考方法をやらないといけない。

だから、今、みんなが信じている定説や通説も、一応はそうだが、それが絶対正しいとは限らない。でも、一応それに従っていこうという懐疑的な見方、物の判断の仕方や、そういうことがすごく大事ではないかと思っています。

そういう意味で思考力を養う。仮説を立てて、実験をして検証するという流れを「新興出版社啓林館」については中心にやっていますし、QRコードでいろんな実験などを動画で確認ができたり。それからいろんな小さなコラムがあって、日常生活のいろんなものについて、科学の面から見たらどうなんだろうというところでいろいろ興味を引くような構成になっているので、内容的に非常に優れていると思います。

今、「新興出版社啓林館」を使用されていますが、これでいいということでよいかと思います。

教 育 長) 浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員) 私も「新興出版社啓林館」がいいと思います。展示会のアンケートでも、久々に教科書を見たら、大人になっても教科書は本当に素晴らしいし、感動した、未来を感じるというものもありました。これは本当にどこの出版社さんもすごく力を入れて作ってくださっていると思うのですが、市販の図鑑よりも充実しているという御意見もありました。

QRコードの多さのことですが、この御意見にはちょっと感心したのですが、将来的に書籍という枠を越えた教材に進化していくことも視野に、今後さらに改良が加えられることを願

っている。なるほどと思いました。「新興出版社啓林館」の場合は、紙面いっぱいのダイナミックな写真が特徴的です。そして、サイエンスを学ぶ楽しさにつながると思います。

「お仕事ラボ」というコーナーがありまして、学んだことに関連の深い職業、例えば気象予報士、博物館の学芸員、氷砂糖の工場に働いている方、何か将来への夢につながるなどと思います。「なるほど」や「みんなで解決」という数々のマークがありまして、それを頼りに学びを深めて、知識を広げることができると考えました。「新興出版社啓林館」を推挙します。

教 育 長) では、越野委員、お願いします。

越 野 委 員) 私も「新興出版社啓林館」を推薦したいと思うのですが、「新興出版社啓林館」には皆さんおっしゃるようにQRコードが非常にたくさん掲載されているのが魅力の1つで、QRコードが実験についているだけではなくて、単元の初めにも、この単元を「ちょこっとのぞいてみよう」というQRコードがあり、その単元で学ぶ内容の関連動画をそこで見ることができますので、学習前の興味づけにもなりますし、実験動画を私も拝見したのですが、アニメーションになっていて、それも子どもたちにとって親しみやすいなと思いました。

また、目次がとても見やすく、観察、実験などの技能という項目に、各単元で学習する実験道具の使い方などがまとまって記載されていて、生活に関連したコラムは科学のコラムにまとまっている形で、子どもたちが知りたい情報をすぐ調べられるような形になっているので、「新興出版社啓林館」がいいと思いました。

教 育 長) 従来から「新興出版社啓林館」は理科分野を得意とする出版社として定評があるわけですが、学校の先生から意見聴取をしてみても、使い勝手がいいと聞いておりますし、委員の皆さんも同意見と理解しまして、「理科」に関しましては「新興出版社啓林館」を採択いたします。

それでは、「音楽（一般）」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

木 村 委 員) 音楽一般と器楽はセットになって入ってます。一方と他方が違う教科書会社にするわけにはいかないと思うので、一緒にまとめて器楽の説明していただいたほうがいいように思いますが。

教 育 長) そこはどうですか。逆に、違っても構わないということですか。

学校教育課長) 違っていても、特に問題はございません。

木 村 委 員) セットで買わなくても、バラでも買えるということですか。

学校教育課長) そうでございます。

木 村 委 員) そういう話ですね、分かりました。

教 育 長) 結果として一緒になるということはあると思いますが、どうですか。

学校教育課長) 協議した結果一緒になったということはあるかもしれませんが、音楽一般の観点でどうなのか、器楽でどうなのかというところでの協議をお願いします。

上月委員) QRコードの出し方は両社どのように違いますか。

学校教育課長) 特に選定委員会の中で、大きく話題として取り上げられることはなかったですが、どちらの会社もあります。「教育芸術社」で言えば、裏表紙に一括でQRコードがありまして、そこから入っていくことでした。「教育出版」につきましては、目次に学びリンクと一緒にセットであります。そこからウェブサイトに入るといふことで、どちらの会社も大きな差はございません。

木村委員) QRコードで曲が聞けたりするのですか。

上月委員) 聞けます。

木村委員) 聞けるんですか。それは両社ともそうなんですね。

学校教育課長) 両社とも聞けますが、すぐに入れるものと、全体からリンクをたどっていかないといけないところもあります。

木村委員) いずれにせよ、曲をまず聞いて練習するなり何なりしないと、自宅でやる場合は特に。

教育長) 一般と器楽をそれぞれ審議しており、セットとして考えていくほうが滑らかかなと思いますが、本年度も一般についてから評価していきましょう。

「音楽（一般）」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

では、上月委員、お願いします。

上月委員) 「教育芸術社」のほうは、曲のよさをプレゼンしようなど生徒の活動につながるような書き方をしてあるところ、紹介文を書いたりしようという文字による表現につなげ、活動につながっているところがありました。

それぞれのページにQRコードがあったのは活用しやすいと思います。著作権のところは、どっちの会社だったかはっきりしないのですが、いきなり著作権協会へ飛ぶわけですが、それがいいのかどうか分かりません。それが一番確かな情報だとは思いますが、そういうリンクの仕方もあるのだと思いました。

「教育出版」は、話し合おうということで書き込める欄があって、よさとかおもしろさとか特徴について話し合いなさいという話し合う観点を示しているところがとてもよいと思います。

私、詳しくないのですが、テクスチュアとは何だと、一番最初のページをめくったときに思ったのです。なかなか「教育出版」では説明を見つけることができませんでした。「教育芸術社」はテクスチュアの説明があって、和音やハーモニーや音や旋律の重なり方のことなのかとわかりました。自分の知らないことの説明の見つけやすさもあり、「教育芸術社」を推挙します。

教 育 長) 木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 音楽を聞く趣味とか、そういうものは少しあるのですが、音楽について詳しいことは分かりません。これもやはり現場の先生、非常に専門性が高い分野であるということで、現場の先生が一番教えやすい教科書であるならばいいだろうなということで、現行使用の「教育芸術社」の教科書が、これでいいという感じですので、「教育芸術社」を推したいと思います。

教 育 長) では、浅井委員。

浅 井 委 員) 「教育芸術社」がいいと思います。1年生が関心を持ちやすいポップス系の曲や合唱曲を最初に多く掲載して、学年が進

むにつれて古典的名作へと続いていく選曲、配列がよいのではないかと思います。

また、2年、3年生の下巻、冒頭のページが谷川俊太郎と木下牧子さん、「春に」という中学生に大変親しみ深い人気のある合唱曲「春に」についての対談が巻頭に載せられているところもおもしろいと思いました。

2年・3年下巻の16ページ、「花の街」。これは阪神間に由来があるとされている曲なのですが、この作詞者、作曲者の言葉が添えられているのもよいと思いました。

「教育芸術社」を推挙します。

教 育 長) では、越野委員、お願いします。

越 野 委 員) どちらの教科書も曲ごとに工夫すべき課題が書かれていて、子どもたちが目標を持って取り組めるようになっていて、またどちらにも生活や社会の中での音楽とのかかわりについて書かれた項目があり、子どもたちが音楽をより幅広い観点で捉えられるように工夫されているなど感じました。

その中でも「教育芸術社」の巻頭ページ、音楽1では野村萬齋さん、音楽2・3の上では松任谷由実さんが、メッセージと写真が紙面いっぱいに掲載されていて、これはとてもインパクトがあって、ここだけを見ると雑誌を見ているような、本当にスタイリッシュな作りになっているなど感じるのですが、子どもたちにとっても、ここで音楽に対するいい興味づけになるなど感じますし、また「教育芸術社」の中の「深めよう音楽」や「曲のよさをプレゼンする」というものでは、子どもたちの考える力だったり、表現する力を育める内容にもなっているので、

「教育芸術社」を推薦したいと思います。

教 育 長) 4人とも「教育芸術社」ですので、「音楽（一般）」については「教育芸術社」としたいと思います。

それでは、「音楽（器楽合奏）」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

ないようですので、「音楽（器楽合奏）」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

そうしましたら、上月委員、お願いします。

上 月 委 員) どちらも演奏家からのメッセージがとても丁寧に書かれていて、生徒が演奏してみたいなという気持ちになると思います。

今の課長の説明の中でありましたように、やっぱり太鼓をたたくのにふさわしい曲といったところの違いから、今、採用している「教育芸術社」がいいのではないかと思いました。

各界の著名人からのメッセージ以外にも、同世代の音楽活動の様子などを掲載して、生徒が意識的に生活や社会の中で音楽に関わっていけるような工夫がどちらにもありました。

全体の響きを確かめながら演奏しようという目標が、「教育芸術社」のほうが分かりやすいのではないかと思いました。

今の音楽は多岐にわたって楽器を知る、理解して、その一部を演奏することになるということに驚きました。ポルタート奏法とテヌート奏法は、これは一緒の奏法なのかなと、ちょっと個人的に疑問を持ったのでまた調べてみたいと思います。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木 村 委 員) やはり、これは太鼓で実際に「教育芸術社」のやりやすい形での曲を使って教えていて、さばきやすいということと、また、音楽一般について「教育芸術社」を選んだこともありますので、そういった観点から「教育芸術社」を推したいと思えます。

教 育 長) 浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員) 甲乙つけがたいのですが、アルトリコーダーは中学校で初めてです。吹き方や何かを見ていると、少し「教育芸術社」が丁寧で、分かりやすいのではないかと思います。ソプラノと2段になって表現されていたりで。そのあたりで少し違いがあるかなと思いましたが、「教育芸術社」を推挙したいと思います。

教 育 長) 越野委員、お願いします。

越 野 委 員) 私も「教育芸術社」が全体的に耳なじみのある曲が多くて、子どもたちが親しみを持って取り組めるのではないかと思いますのと、あと和楽器のページでは、簡単なアンサンブルの曲を取り上げていて、各楽器を用いた鑑賞曲もそこに掲載されているので、子どもたちがまずは鑑賞して、イメージをつかんでから学んでいけるところも「教育芸術社」がいいのではないかと思います。

教 育 長) 音楽について一般・器楽とも同じ「教育芸術社」と皆さんの意見が一致しておりますので、また現場も「教育芸術社」を使用するに当たって、何も違和感なく対応できると聞いておりますので、「音楽（器楽合奏）」に関しましても「教育

芸術社」を採択とします。

では、ちょっと窓を開けまして空気の入れ替え等します。よろしくをお願いします。

〈休憩〉

教 育 長) では、時間が来ましたので始めさせていただきます。

それでは、「美術」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

評価の特徴としてはQRコードであったり、生徒作品が見られたりするのが大きなことでしたか。

学校教育課長) 選定委員会の中での評価は、やはり生徒が美術を学習するに当たって参考となる手だてが、短い授業時数で学習する美術においては非常に効果的だということでした。

教 育 長) 「美術」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

越野委員、よろしくお願いします。

越 野 委 員) 私は「光村図書出版」がいいかなと思ったのですが、「光村図書出版」はトレーシングペーパーが挟んであるところがあって、書き込んで鑑賞を深めることができるようになっていたり、鳥獣人物戯画は和紙に印刷されていたりと、子どもの興味をひく工夫がいろいろとなされているのいいなと思った点です。

あと、表現中心の題材で「みんなの工夫」がありますが、そこには生徒の制作過程が詳しく紹介されていて、生徒自身が制

作するに当たっても、これがとても参考になるのではないかと
思いました。

また、「光村図書出版」は防災関連の題材も多く取り上げら
れていましたので、こちらを勧めたいと思います。

教 育 長) では、浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員) 私は、まず「光村図書出版」を挙げたいと思います。課長
の説明にもありました巻頭の「美しい」というコーナーですが、
中学生がみずから撮影して、みずから言葉を添えている。日常
の中の美しさを発見することが中学生にとってはとてもいいと、
身近なところにある美しさですから、その観点はすばらしいな
と思いました。

そして、美しいという詩が最初のページ、次の2年・3年の
阿修羅の関係、ここに続きが載っていて、最後に完結、草間彌
生さんのページ、一番最後のページで完結しているのは、とて
もしゃれているし、興味がひかれるなど、これはアイデアがす
ばらしいと思いました。

そして、版画のところでは和紙が使われています。その紙質
を変えていますし、また鳥獣戯画は日本で一番古い漫画とされ
ていますが、これと実際の手塚治虫さんの漫画を対比させたと
ころの視点もおもしろいと思いました。

また、「日本文教出版」は、最初に親しみ深いトトロの背景
画を巻頭に置いているところ、また尾形光琳の「燕子花図」の
見開きページも見事ですので、2番目に推挙したいと思いまし
た。

教 育 長) では、木村委員お願いします。

木 村 委 員) 「光村図書出版」か「日本文教出版」かという感じかなとは思いますが、現行で使用しているのは「日本文教出版」ですが、どうも調査研究委員としては「光村図書出版」のほうが使いやすいのではないかと考えているのが1つ。

手塚治虫の漫画が載っているのに感動して。やっぱり関西で、宝塚に手塚治虫記念館が建っていますから、身近に感じることもあるかなと思って。一応悩みましたが「光村図書出版」を推薦します。

教 育 長) では、上月委員お願いします。

上 月 委 員) 絵巻物と漫画の表現とか絵から物語を作るとか、テーマのつけ方が、とても「光村図書出版」は上手だなと思いました。目標がそのテーマと合った目標にされていることがよかったです。作品を鑑賞して文章を書くのは小学校高学年でも行いますし、中学校でも行います。国語と非常につながっていることを感じます。

QRコードの中に音声ガイドがあって、私も聞きましたが、その音声ガイドの文章を書くという国語の授業もあるわけです。そういうところが、やっぱり「光村図書出版」が国語とつなげて上手に編集していると思いました。

また、鳥獣戯画は、これは小学校の国語の教材にありますし、その中で漫画的な技法についても記述があります。いろいろな形の箸を紹介したりするところは家庭科や食育とつながっていますし、土器を紹介するページは社会科とのつながりもあります。他教科との関連に配慮されている点でも「光村図書出版」がよいのではないかと思います。

教 育 長) 課長に聞きますが、本市の場合、出版社が小学校と中学校で結構セットになっているのが多いですね。

学校教育課長) はい。

教 育 長) 今回、美術に関しては、小学校の図画工作は「日本文教出版」を使っています。これが中学になったときに教科書が変わるということで、その授業の中とか、教えにくさとか、子どもたちが戸惑うことはあるのですか。

学校教育課長) いいえ、教える内容も違いますし、中学校における狙いもありますので、小学校と中学校において教科書が異なっても、影響はございません。

教 育 長) 今まで「日本文教出版」を採用していましたが、教育委員の総意として新しく「光村図書出版」で決定したいと思いますので、指導の方はよろしくお願ひしたいと思います。

「美術」に関しましては、「光村図書出版」にいたします。

それでは、「保健体育」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

では、ないようですので、「保健体育」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

では、越野委員からお願いします。

越 野 委 員) 芦屋では防災教育を推進しているところがありますので、防災関連の題材がどのように取り扱われているのかを見ていたのですが、どの教科書にも防災関連を取り上げていたのですが、

中でも防災に関連した写真の掲載などが圧倒的に多かったのが「学研教育みらい」でして、地震や台風や竜巻、噴火など、日本全国の自然災害による被害の様子が掲載されていて、災害関連の図表も多く、防災について考えたり、話し合ったりする場面もありましたので、芦屋には「学研教育みらい」が合っているのではないかと感じました。

教 育 長) では、浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員) 私も「学研教育みらい」がいいと思います。ストレスについてのチェック項目があるなど、中学生の実生活でも活用できる内容になっておりますし、「考える・調べる」のコーナーでは主体的で対話的な深い学びができる仕掛けとなっていると考えます。過去から学ぶ、そして最前線を知るという双方のコラムから、今を考えるとという構成になっていると思います。

 以上の理由から「学研教育みらい」を推挙したいと思います。

教 育 長) 木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 非常にイラストが多くて、項目を見て非常に分かりやすい。見開きで2ページにわたってわかりやすく表現しているという工夫をされていたりという感じから、今現在、使用している「学研教育みらい」を継続することがいいと思います。

教 育 長) では、上月委員。

上 月 委 員) ほとんどの教科書が課題をつかむところが初めに短くあって、学習の最後に深めたり生かしたりしようとまとめになっている点、とてもよいと思います。

 「学研教育みらい」は章に入る前に「考える・調べる」として、考えを広げていけるような部分がありよいのではないかと

思います。

「大修館」もまとめに生徒の生活から問いを立てるなどの工夫がありました。それぞれによさはありますが、私も継続して学べるという観点から、「学研教育みらい」の教科書を薦めます。

教 育 長) 4人ともに「学研教育みらい」と推挙がありました。例年、「学研教育みらい」を使用していて、不都合もなくやっている実績も踏まえまして、総合的に「保健体育」に関しましては、「学研教育みらい」を採択いたします。

それでは、「技術・家庭（技術分野）」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

ないようですので、「技術・家庭（技術分野）」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

では、越野委員、お願いします。

越 野 委 員) これからは、ますます情報教育が重要視されてくると思いますが、コンピューターの技能の部分であったり、情報の表現や伝達、またセキュリティーやモラルについてなど、「開隆堂出版」が情報に関連した内容を数多く取り上げられていたのがよかったなと思います。あと、技術に関係する進路や職業などを紹介するコラムなども多くて、そこはキャリア教育にもつながっていくと思いますので、総合的に「開隆堂出版」がいいのではないかと思います。

教 育 長) 浅井委員、お願いします。

浅井委員) 私は「開隆堂出版」がいいと思いました。各単元の学習のまとめがとても簡潔で、理解を深められる構成になっています。そして各単元の扉に小学校との関連、中学校のほかの教科との関連が明記されておりまして、必要に応じて連携が図れる仕組みになっているところがよいと思います。「開隆堂出版」を推挙します。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木村委員) 「開隆堂出版」が現在使用されている教科書だということですが、それでうまく使うことができるという印象があることと、あと「開隆堂出版」の教科書、大体見開きの右下にQRコードがあって、何か列記しているところもあるので、ネットを使って連携的に、立体的に理解できるのではないかと思いますので、「開隆堂出版」でいいと思います。

教 育 長) では、上月委員。

上月委員) 「東京書籍」の右下にありますパラパラ漫画がおもしろいなと思って見ていました。

「開隆堂出版」にはいろいろなものを制作するときの切り方や、やすりがけの姿勢、そういうところに注目するようにモデルの視線が点線を入れ、着目する箇所を示す配慮がありました。私は制作には視線がとても大事ではないかと思います。そうした特徴があるので「開隆堂出版」を推薦します。

教 育 長) 「東京書籍」も評価があったわけですが、これも皆さん共通して挙がっているのは「開隆堂出版」で、私も全体的に見て「開隆堂出版」が現在も使用していることも含めて、いいので

はないかと思しますので、「技術家庭（技術分野）」の出版社は「開隆堂出版」に決定いたします。

それでは、「技術家庭（家庭分野）」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長） 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長 ） ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

ないようですので、「技術・家庭（家庭分野）」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

越野委員、お願いします。

越 野 委 員 ） 「東京書籍」が、全体的に写真が効果的に使われていて、食品の概量の単元では、1日に必要な食品の目安量が実物大の写真で示されているので、そういうところがとてもインパクトがあって、子どもたちがイメージがつかみやすいのではないかと感じました。

また、調理の実習例もたくさん掲載されているのも、家で作ってみようという興味づけになりますし、また課長からの説明にもありましたように、調理や制作の基礎的な技能の部分では、「いつも確かめよう」にまとめてあって、分からないときにはあちこち探さなくても、そこを見てすぐ調べられるとなっているので、子どもたちが使いやすいのではないかと考え、「東京書籍」がいいのではないかと思います。

教 育 長 ） では、浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員 ） 私も、まず「東京書籍」を推したいと思います。「プロに聞く」のコーナーが特徴的です。和食の料理人や染色職人やク

リーニング師などのプロが登場して、コメントが掲載されています。それは学習と社会とのつながりが感じられる工夫があって、キャリア教育につながるなと思いました。あと付録の防災減災手帳もいいなと思いました。

「開隆堂出版」も手ぬぐいを使ったレシピがあったり、ブックカバーを作る。ほか、実習の献立例なども豊富であると思いましたので、2番目に「開隆堂出版」を推したいと思います。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 現在使われている「東京書籍」でいいのではないかと思います。各節の最後に学習のまとめがあって振り返ることができるか、そういう工夫であったり、「プロに聞く」という工夫がされているという点。現在、使っている中で、これも特にこの教科書でいいという意見が多いようですので、これでもいいかと思います。

教 育 長) 上月委員、お願いします。

上 月 委 員) 調理実習で「豚のしょうが焼き」が両方に出てくるので、そのこのページを比べてみました。主に栄養面を考えているのが「開隆堂出版」、見た目の彩りを考えているのが「東京書籍」という特徴がありました。

スマホなどで写真を撮るときに、その品物だけを撮るのではなくて、後ろにいれるものや下に敷くマットなど、どういうものを使って写真を撮ったらおいしそうに見えるかということ、テレビからの情報ですが聞いたことがあります。その点、「東京書籍」の見せ方、写真の撮り方が上手だなと思いました。

「開隆堂出版」のみそ汁は大根が入っているのですが、大根

もネギも白いので、どっちかというとなぎを青にしたらすっきりよく見えるかなと、そんなことも思って見ていました。

「東京書籍」は、学習のまとめが2ページあり、知識的なことも、穴埋め的な問い方やテストのような形式で知識の定着を図っていました。比べて「開隆堂出版」は、それぞれのお店で買ったキュウリを食べた2人が話し合っています。どのようなことを感じましたか、どのようなことを話し合っていますか、など、対話ができるようなまとめ方に工夫があることがとてもよいと思います。どちらにもよさがありますが、総合的に見て「東京書籍」を推薦します。

教 育 長) 家庭に関しては、「東京書籍」を4人とも推挙としてあげりましたので、「技術・家庭（家庭分野）」に関しましては、「東京書籍」を採択としたいと思います。

教 育 長) それでは、「英語」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

浅 井 委 員) 小学校の英語の教科書は、たしか「ONE WORLD」を使っていると思うのですが、この辺の接続的には問題はないでしょうか。

学校教育課長) 小学校は「教育出版」です。確かに、小中の接続はどうかという議論はありましたが、英語になじみやすいところで小学校では「教育出版」を使用していますが、中学英語につきましては、特に小学校と教科書を揃えるところは必要ではなく、や

はり子どもたちに向かわせたい視点を重視することで小学校の教科書と違って問題はないという報告でありました。

浅井委員) 分かりました。

教育長) ほかに質問はございませんか。

ないようですので、「英語」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

越野委員、お願いします。

越野委員) 全体的には小学校の流れも受けて、どの教科書もコミュニケーションが中心となっていて、その分、文法の説明が少なくなっているように感じたのですが、その中でも「東京書籍」は文法解説のページで肯定文、否定文、疑問文などの変化が丁寧に解説してあって、分かりやすいなと感じました。

また、「東京書籍」はどのページにもQRコードがあって、文章や単語を自宅でも聞けるようになっているので、自主的な学習にもそのあたりが役立つのではないかと思います。あと、1年生の巻末には、コミュニケーションで使える日常生活に関わる英単語が挿絵つきでまとめてあります。

こういうものがあると、いつも手元に置いておいて、授業で、会話で自分の言いたいことが思いつかなかったときにも、そこを見ればすぐ分かるようになっているので、子どもたちはとても使いやすい教科書なのではないかと思いますので、「東京書籍」を推薦したいと思います。

教育長) では、浅井委員、お願いします。

浅井委員) 私は「東京書籍」がいいと思います。ただ、「教育出版」の「ONE WORLD」も捨てがたいと思うのですが、「O

「NEW WORLD」のシンプルで分かりやすい形式と、こちら「NEW HORIZON」は内容が盛りだくさん、豊富であるという2つの特徴の違いを感じました。

「東京書籍」は登場するキャラクターがいるわけです。キャラクター、1年生の10ページですが、主な登場人物、大きく4人を取り上げてますが、個性がはっきりしています。多様性があるって、国籍もいろいろであるし、趣味などもいろいろという中で、これらの人物、キャラクターとつき合っていくわけです。やはり親しみを持って、いろいろ想像しながら学んでいける点では、「東京書籍」がいいのではないかと思います。

内容も新聞記事をそのまま掲載されていたり、日本以外の国で使われている標識、ハリケーンや津波などの写真が取り上げられていたりして、見た目もバラエティーに富んでいるので、中学生が関心を持って取り組みやすいのかな、またほかの教科にもつながっていくのかなと感じました。

「東京書籍」の「NEW HORIZON」を推挙したいと思います。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 現行では「ONE WORLD」、「教育出版」が使われているのですが、当時の先生方は「東京書籍」の「NEW HORIZON」がいいのではないかという声が強いようで。さっきもちょっと出ましたけど、QRコードが、「東京書籍」についてはいろんなページの上にあって、それをアクセスすると英語の音声が入るといふ点、非常に大きいと思います。

こういう音声系やさっきの理科の実験系など、そういうもの

については、やはりQRコードを、今後は教科書が活用して、
いろんなところでアクセスできる試みが必要になってくるの
かなと思いました。

そういう点で、「東京書籍」の「NEW HORIZON」を推したいと思います。

教 育 長) では、上月委員。

上 月 委 員) 小学校で学習したことを振り返りながら次へ進んでいくと
いう点は、「東京書籍」「教育出版」もそこは同じでした。

スピーチの後、どのような話題を生徒に与えるかですが、メモ
について分かったことは何かと、スピーチのよいところはど
ういうのか、ちょっと視点が違います。内容を聞くのであれば、
分かったことはどういうことだったかというほうが身近かなと
思いました。

それから、どの教科書もグループで意見を伝え合うことをと
ても大切にしていることが伝わってきました。現在使われている
ものや、今、推薦があるものには挙がってこないのですが、
「光村図書出版」の課題の立て方がやっぱりうまいと思います。
世界のどこかに行ってみようという、そういう知らない人に、
知らない人や物について尋ねよう、という内容です。「東京書
籍」もそういう点ではテーマの立て方がとてもよいのではない
かと思います。

私は、「光村図書出版」のよさも感じるのですが、丁寧さと
情報の出し方の工夫という観点から「東京書籍」を推薦したい
と思います。

教 育 長) 4人とも「東京書籍」を推挙としてあがりましたので、今

まで「教育出版」ではありましたが、「英語」は「東京書籍」を採択いたします。

それでは、「道徳」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) (議案資料に基づき概略説明)

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

ないようですので、「道徳」の教科書採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞かせください。

越野委員、お願いします。

越 野 委 員) 今も芦屋で使われている「日本文教出版」は、以前から震災関連の題材が多く使われていたのですが、今回も各学年で震災関連の題材が取り上げられていて。2年生では、阪神・淡路大震災のときの避難所での一場面が題材になっているのですが、その主人公が中学生ですので、子どもたちは自分事に置き換えて考えやすいだろうなと思いましたし、また私たちに耳なじみのある「しあわせ運べるように」のワンフレーズなども紹介してあったりして、芦屋の子どもたちにはとても親近感を持って学べるのではないかと思います。

また、学習の進め方があって、そこでは直前のページで学んだ題材について、自分たちが実際に演技をして体験したり、話し合ったりして考えを深めていけるようになっていて、その手順も具体的に示されているので、そのあたりも子どもたちだけではなくて、若い先生方が授業を進めるに当たっても、とても役立つものではないかと思いますので、「日本文教出版」を推薦したいと思います。

教 育 長) 浅井委員、お願いします。

浅 井 委 員) 私も「日本文教出版」を推挙したいと思います。

1年生の比較的早い段階でいじめの単元に入ることができる、この点がよいのではないかと考えます。

また、道徳ノートという付属のノートがありますが、これは自分で考えてみよう、話し合いをメモしてみようと、無理に答えを導こうとせずに、生徒や先生にゆだねて、フリーに使えるようになっているところが非常によいと思います。

また、3年生ではユダヤ人の悲劇を描いた「エリカ」、働くことの尊さについての「あるレジ打ちの女性」、向田邦子のエッセイや「風に立つライオン」のさだまさしの歌詞など、内容が非常に多岐に渡っていると感じました。

特に3年生の150ページ、パキスタンの人権運動家、マララ・ユスフザイさんは今23歳ですが、中学生と年齢の近い女性人権活動家を取り上げていること。最後には「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられるのです。教育以外に解決策はありません。教育こそ最優先です。」という言葉で結ばれている、このマララさんを取り上げていることから、私は「日本文教出版」「あすを生きる」を推挙したいと思います。

教 育 長) では、木村委員、お願いします。

木 村 委 員) 私も現行で使われている「日本文教出版」でいいと思います。

この教科書のいいところは、やはり価値観を、一定の結論を出して、それを押しつける形ではなく、とにかく考えさせる点

がいいところで、各箇所では考えてみようという小さな質問を投げかける欄があって、それによって考えを深めさせるところに、そういう授業ができるような作りになっていることで、それがいいのではないかと。

それから、別冊ノート、道徳ノートがついている。これも特に結論がどうかではなくて、友達と話し合ったりした結果、意見を書く形になっていることで、自分で考えることを重視しているということで、これがいいのではないかなと思っています。

ということで、「日本文教出版」でよいと思います。

教 育 長) では、上月委員。

上 月 委 員) ちょっと違う視点から道徳ノートについて意見を述べさせていただきます。ドットが入って書きやすくなったのはとてもいいし、1冊になることによって、1年間の自分の学びの振り返りができることがとてもよいと思います。

ただ、教材が違って書く内容、観点は全部一緒です。友達の見解や話し合いをメモしよう。ちょっと違うところもありますが、自分で考えてみようとか、基本的には自分にプラスワンで、最後にもう一度考えるようになっています。

しかし、教材によってはグループでの協議を中心にして、そこを重点的に考えさせようという学習に適した教材もあるかもしれないし、自分の考えを別の教材も入れながら深めていく。自分の考え方とか生き方の変化を見ていくこともきっと教材によってはあると思うので、ワンパターンにならないように、このノートを使うときには教師が配慮していかなければなりません。

また1ページ、これだけ書くのに1時間の授業、50分の授業のうち何分ぐらいかかるのかなと思いました。書くことが目的ではなく、書いて考えることが大事で、宿題にならないように進めていくとよいと思いました。

自分への振り返りはとてもよかったです。

「光村図書出版」の3年生の最後の教材がよかったです。小学校と合わせて義務教育の9年間の道徳の学習を振り返る。命の尊さについて振り返る、考える。そして話し合っ、書き込む欄がある。ただ書くだけではなくて、書いた後に3つの観点から短文を出してきて、もう一度グループで協議をしましょうと、話し合っ、命の大切さ、尊さについて深める。最後に自分への手紙がある。人生のタイムラインがある。

あくまでも卒業という節目の時期にあたって、生徒自身に、あなたはどうなの、あなたはどんなふうに生きていきたい、あなたはどんなふうに考えるの、と、自分に返すところがとてもよいのではないかと思います。

先生方が工夫をされることを期待してワークシートがある「日本文教出版」、生徒の自分に返す教材のよさがある「光村図書出版」の2社を推薦したいと思います。

教 育 長) 教育委員全員が「日本文教出版」を挙げていますので、事務局においてはワークシートで全て完結するのではなく、今の提言の内容を踏まえて、教育活動の中には厚みを持たせた形をしてほしいとつけまして、「道徳」は「日本文教出版」に決定いたします。

もう一度、最初から復唱します。「国語」は「光村図書出

版」。「書写」は「教育出版」。「社会（地理的分野）」は「日本文教出版」。「社会（歴史的分野）」は「教育出版」。「社会（公民的分野）」は「日本文教出版」。「地図」は「帝国書院」。「数学」は「日本文教出版」。「理科」は「新興出版社啓林館」。「音楽（一般）」は「教育芸術社」。「音楽（器楽合奏）」は「教育芸術社」。「美術」は「光村図書出版」。「保健体育」は「学研教育みらい」。「技術・家庭（技術分野）」は「開隆堂出版」。「技術・家庭（家庭分野）」は「東京書籍」。「英語」は「東京書籍」。「道徳」は「日本文教出版」と決定いたしました。

次に、特別支援学級で使用する教科用図書について、協議を行います。一般図書について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長） 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長 ） ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

具体的には今、採択した国語や社会が、その子にとっていいと思えば、こちらは使用しないということですね。

学校教育課長） そうです。

教 育 長 ） 重複ではなく、どちらかを選ぶということですね。

学校教育課長） どちらかでございます。

教 育 長 ） それは、その子に応じて担任等が判断していくということですね。

学校教育課長） はい。

教 育 長 ） 他に質疑はございませんか。

それでは、採択に移ります。

一般図書は別添資料の200冊および拡大教科書を採択する
ということよろしいですか。

〈異議なしの声〉

そのように決定いたします。

今日は各出版社の皆さん、本当、お忙しい中、来ていただき
てありがとうございました。芦屋市教育委員会はこういう形で
採択させていただきました。たくさん採択された会社、または
それなり、またはなかった会社等あると思いますが、これから
もどうか御支援、よろしく願いいたします。

この事項はこれで終わりますので、次の審議に入ります。

教 育 長) ここでお諮りいたします。報告第15号「令和2年度教育
委員会関係補正予算（第6号）について」、報告第16号「財
産（学習用タブレット端末等一式）を取得することについて」
及び、報告第17号「芦屋市立幼保連携型認定こども園の設置
及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」
ですが、市議会提出議案のため非公開で行いたいと思いますが、
御異議ございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認め、そのように決定いたします。

教 育 長) ただいまから非公開で審議いたします。

〈非公開審議〉

教 育 長) 続いて、日程第2、報告第15号「令和2年度教育委員会
関係補正予算（第6号）について」を議題とします。提案説明
を求めます。

管 理 課 長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

キャビネットの納品はいつぐらいになりますか。

打出教育文化センター所長) キャビネットは、タブレット端末が入る時期に合わせて
1月末か、早ければ1月中旬ぐらいには納入できる予定です。

教 育 長) 端末が野積みになってぞんざいにならないように、管理を
お願いします。

他に質疑はございませんか。

それでは、報告第15号「令和2年度教育委員会関係補正予
算(第6号)について」の報告を受けたものいたします。

教 育 長) 次に、報告第16号「財産(学習用タブレット端末等一
式)を取得することについて」を議題とします。提案説明を求
めます。

打出教育文化センター長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) タブレット端末約六千台は、打出教育文化センターに入る
のですか。

打出教育文化センター所長) 12月20日に納入予定ということで業者から連絡があり
ましたので、ちょうど年末ということもありますし、期間は
1か月半ぐらいセッティングにかかりますので、2階の大会議
室と小会議室を12月末から1月末までは使用を控えていただ
くと、御利用いただいている方には御連絡を早目にしていこう
と計画をしております。

教 育 長) 分かりました。

説明が終わりました。質疑はございませんか。

それでは、報告第16号「財産(学習用タブレット端末等一
式)を取得することについて」の報告を受けたものいたしま

す。

教 育 長) 次に、報告第 17 号「芦屋市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。提案説明を求めます。

管 理 課 長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) 質問ですが、伊勢幼稚園で今度年長に上がる園児が西藏に行きますが、何人いますか。

管 理 課 長) 今現在 4 歳児、年少クラスにいるのは 12 人です。

教 育 長) 12 人ですか。ということは定員 30 人だから、十何人はまた募集するということですね。それともしないということですか。

管 理 課 長) このたび西藏で、1 号で募集しますのは 3 歳児 30 人と 4 歳児 30 人です。5 歳児の子につきましては、定員の 30 人から現在伊勢幼稚園の 4 歳児クラスに在籍している 12 人を差し引いた 18 人を募集します。

教 育 長) 分かりました。

管 理 課 長) その後、そこで埋まらなかった場合は、伊勢幼稚園の年少児で受入れをしていく形でございます。

教 育 長) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

他に質疑はございませんか。

それでは、報告第 17 号「芦屋市幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」の報告を受けたものといたします。

教 育 長) 非公開での審議は終了いたしましたので、これより公開いたします。

<非公開審議 終了>

教 育 長) 閉会宣言